



2024.7.9 第19号



森田 博

5年「魚のたんじょう」
発展！プランクトン観察

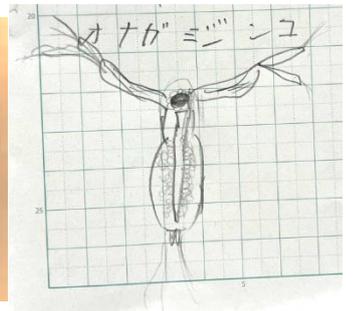
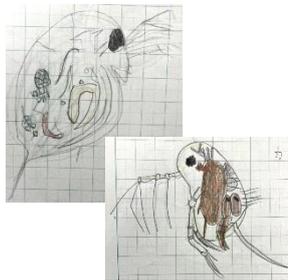
プランクトンを顕微鏡で見つけよう!

5年生「魚のたんじょう」の学習では、ペットボトルで飼っているメダカがどんどん産卵し、今では数百匹の稚魚が孵っています。朝の会の前から、帰りの会后までエサやりを根気強くがんばっている姿や、理科室に入って来るたびに、メダカの話や生き物の話、理科の話題をたくさんしてくれるようになりました。理科室の解放の意義や、理科室経営、理科室の博物館化といった、理科教育の効果的な取組のいくつかが確立しつつ、継続されていると日々感じている今日この頃。間もなく長い夏休みに入ります。一度メダカを元の水槽や、野外のビオトープへ戻す作業を、子どもたちと行いたいと思っています。

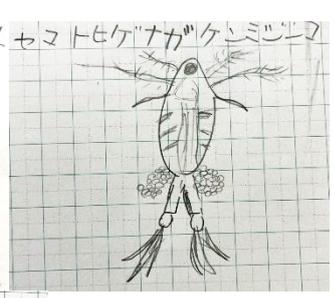
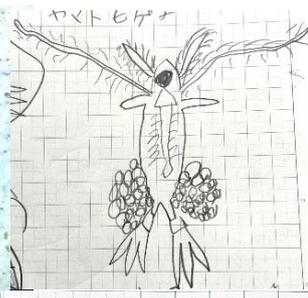
そこで、毎日エサやりをしているけれど、自然のメダカは、何を食べているのだろう?と考へ、プランクトンを調べることにしました。(毎年、メダカ学習の発展授業で取り組んでいます。)南郷里小付近の田んぼや用水路からバケツで採取したり、私の家の近所のため池や、長浜港でプランクトンネットを使って採取してきたものを使いました。食い入るように顕微鏡に向かう子どもたちの姿に、プランクトンへの対話、ミクロの世界への関心の高まりを感じました。実際に顕微鏡で観察できたプランクトンやノートのスケッチを紹介します。

【タマミジンコ】 観察中の動画が視聴できます。

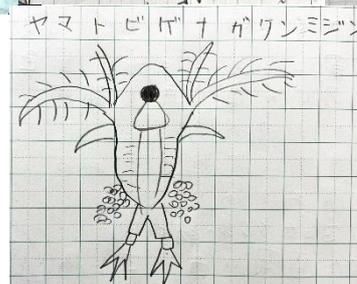
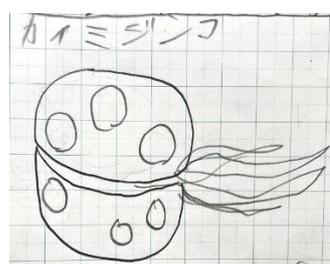
【オナガミジンコ】



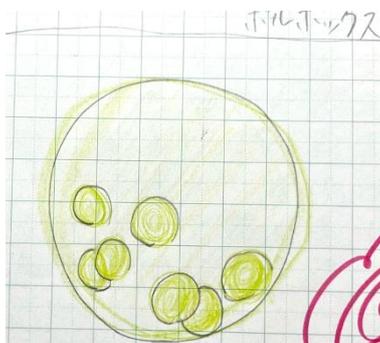
【ヤマトヒゲナガケンミジンコ】



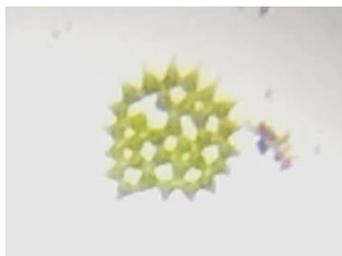
【カイミジンコ】



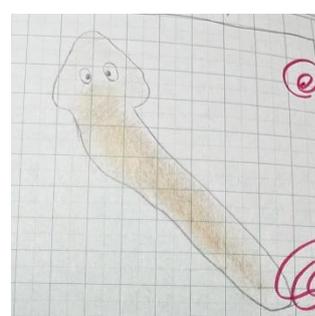
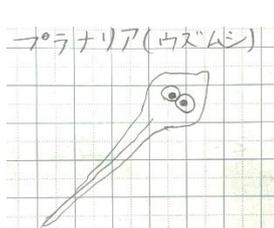
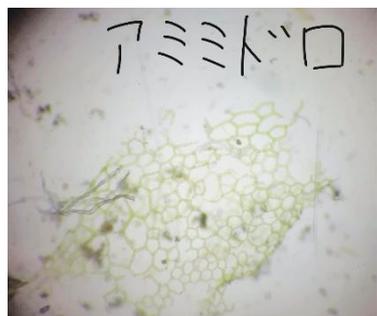
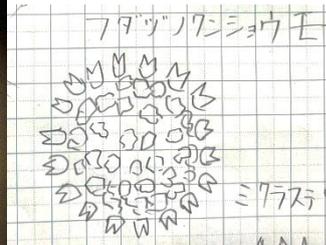
【ボルボックスのなかま】



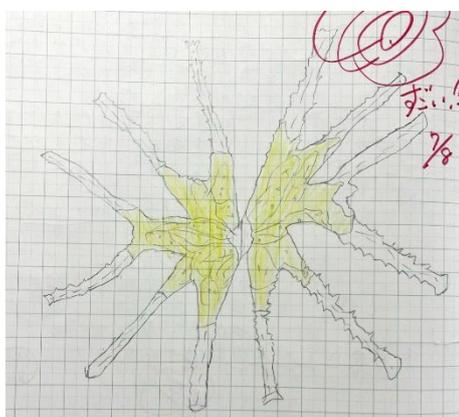
【ピワクンショウモ】



【フタツノクンショウモ】



【ミクラステリアス】



プランクトン調べには、この本!!



採取したプランクトンを濃縮するには、ろ過をします。ろ紙にくっついたプランクトンを、再びスポイトで水を入れながら吸い込み、ビーカーに入れ直します。

この2冊は、プランクトンを調べるためのバイブルになっています。左の本は、滋賀大学でCST 認定講習でお世話になりました 石上三雄 教授 がこの6月に出版された著書です。長年にわたり観察と撮影をされた大変貴重な写真と動画(QRコード)がたくさん掲載されているすばらしい本です。右の本は、以前から使っていた琵琶湖博物館発行の本です。